

がっこう せいかつ 学校の生活

(心構え)

一人一人が平等であるという大原則と自分や自分たちに関することを自らの責任において取り組むという自治の気持ちを大切にしましょう。

- ・ 自分自身を大切にし、役割を自覚しながらやるべきことに向かい、力を伸ばしましょう。
- ・ 相手の思いや立場の違いを認め、お互いがより満足する方向を目指し経験を重ねましょう。
- ・ おかしいと思ったことは表現できるなど、全ての人が表現できる雰囲気をつくりあげましょう。

(授業)

授業の妨害や抜け出し、周りの子の学習の妨げになることはせず、学びを楽しむ習慣を身につけましょう。また、学校に入ったら、下校まで学校から出ないようにしましょう。

(服装等)

校内外の学習活動及び登下校(休業日を含む)の際は、学校が定める制服を着ましょう。

全て名前を分かるように書いてください。

- ・ 上着(濃紺のイートン) 上着に準じる折スカート、ズボン
- ・ 白のポロシャツ、カッターシャツ、ブラウス、ベスト、セーター (紺・黒・灰色)
- ・ 登下校時には、通学用黄帽子をかぶりましょう。
- ・ 白、黒、紺の靴下をはきましょう。(ワンポイントは可)
- ・ 靴は白い運動靴で、室内ではスクールシューズを履きましょう
- ・ 登下校中は防寒着として、手ぶくろ、マフラー、ジャンパー等を着てもいいです。
- ・ 冬の時期の体育の授業では、体操服(半袖・長袖)の上に、長袖の上着や長ズボンを着てもいいです。(運動しやすい服装に限ります。)

(持ち物)

勉強道具を含め、持ってくるものは、自分で選んで、自分で用意してください。

SNSが利用できるパソコン類、携帯電話、ゲーム機等は禁止します。また、持ってきたことが原因で学びに向かう力が発揮できない場合には、いったん預かり、保護者に返します。

(その他)

法規・法令に違反する行為や学校が教育上指導を必要すると判断した行為等があった場合、児童に説諭等を行います。この場合には、必ず保護者にも連絡をし、児童のより良い成長に向けての話し合いを求めます。

学校を離れた場での生活も、思いやりの心を育てながら、安全に気を配り生活できるように学校からも過ごし方の提案をします。家庭での話し合いの参考とし、ルールづくりを家庭でも行ってください。

みなお かんが かつた およ 見直しの考え方及び、その他きまりについて

ふくやましりつやないづしやうがっこう
福山市立柳津小学校

やないづしやうがっこう ぜんしよくいん ひとりひとりすべ じどう じぶん よ
柳津小学校の全職員は、一人一人全ての児童が、自分らしさを良さととらえ、あきらめず
に、かんが ちが ひとひとともに、よりよい生活をめざして、じぶん かんが 決めてよりよく行動
できるようにせいちよう かんが 考えています。

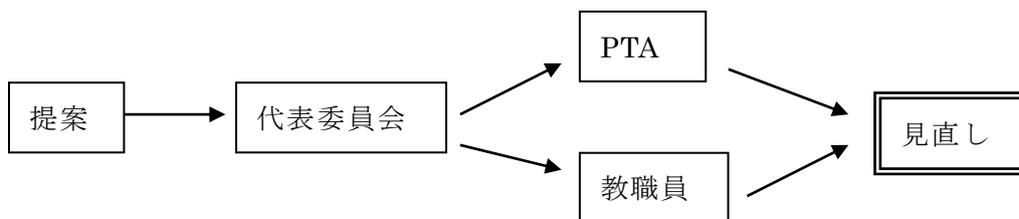
がっこう せいかつ つく なお 学校の生活の作り直しについて

「学校の生活」については、こんごも じどう はなし しゅうせい じどう
「学校の生活」については、今後も児童と話をしながら修正をしていきます。児童が求
めているがっこうせいかつ ひつよう じどう はなし すす
められている学校生活にとって必要なきまりはどんなものかと、児童と話をしながら進めていき
ます。きまりはぜんいん まも むとつ ひつよう かんが せいぶんか まも
ます。きまりは全員が守ることが最も必要だとも考えています。明文化するきまりは守る
べきです。

そこで、がっこう せいかつ つぎ かんが とりくみ すす
そこで、学校として次のように考えて取組を進めます。「学校の生活」が柳津小学校の確認
事項です。かんが かんが かつた
考え方は、次からをご覧ください。

「学校の生活」は、ほんごう じぶん かんが かんが かんが かんが
「学校の生活」は、本校が、「自分で考え、決めて、より良い行動ができる」という趣旨を
踏まえた面を取り入れます。たいせつ かんが かんが かんが かんが
大切なのは、形をそろえるのではなく、浪費することもなく、
他者を妬むことなく、じぶん かんが かんが かんが かんが
自分らしく学びに向かう道具を、毎日、きちんと自分で準備して登校
することです。なに ひつよう かんが かんが かんが かんが
何が必要かは、自分で決めます。必要でないものは、大切にするために持つ
てこないことも自分で決めます。その機会を、持ち物でつくっていきましょう。

がっこう せいかつ みなお なが
〈「学校の生活」見直しの流れ〉



ふくそう 服装について

じゆう ぜんぶ かんが かんが かんが かんが かんが かんが
自由にするなら、全部という考え方もあります。しかし、けいざいめん もんだい いっき じゆう
経済面での問題、一気に自由
にすることが、かえて じどう ほごしや こんらん まね おちついた せいかつ おく
かえて児童や保護者の混乱を招き、落ち着いた生活を送りにくくなると考え
ています。よって、ほんごう せいふく も りべんせい ゆうせん ちやくよう
よって、本校では、制服の持つ利便性を優先し、着用のきまりとしています。体操服、
ぼうし くつ くつした は その一部と かんが
帽子、靴、靴下はその一部と考えています。

せいふく うわぎ など せいふく せいふく せいふく
制服（上着、ズボン、スカート、シャツ、ベスト等）は、指定された色を着てください。

文房具について

- ・ 筆箱、下敷きの指定はありません。
 - ・ 鉛筆、(シャープペン)、赤・青の鉛筆またはボールペン、物差し、消しゴム等
- 学校としては、授業中は鉛筆の使用を推奨します。特に、低学年は丈夫で扱いやすいように、滑らかに書ける鉛筆(2B)を勧めます。しかし、シャープペンの良さも認めています。加えて、筆箱は、内容が確認しやすい箱型を推奨します。
- その他の文房具等については、同じものを利用した方が、子ども同士で使い方を教え合ったり、指導が分かりやすかったりするうえで効果があるため、一斉に注文を取っているものもあります(入学時の算数セット、コピーや鍵盤ハーモニカ、進級時の習字道具、リコーダー等)。ご利用ください。

全ての持ち物について

- 記名をお願いします。特に履き物は、誰が見てもわかるようお願いいたします。
- アレルギーの問題、衛生上の問題等様々な問題があります。食べ物の持ち込みは絶対に禁止です。
- 学校は、浪費を教える場所ではないことを保護者の皆様にもご理解いただき、持ち物について児童が決める判断力を常に高めるよう対話を行ってください。学校生活に支障があると学校が判断した場合には、児童に考えを求めたり、保護者に相談したりすることがあります。

登下校、校外の生活について

- 登校は、登校班で登校します。欠席の場合は、学校へ連絡をお願いします。また、保護者の方の都合がつけば、登校班の集場所に連絡していただければ他の児童も安心できます。
- 下校は、毎月の下校時刻をお知らせします。一斉に下校する場合がありますが、多くは学年ごとの下校となります。安全面を優先し、寄り道することなく下校するように学校は指導をします。
- 児童だけで遊ぶ時間は、事故に巻き込まれる恐れがあるため、学校では家に帰る時刻を次のように設定しています。
4月～9月 17時30分 10月～3月 17時
学校にいる児童には、声をかけます。
- 自転車の利用については、3年生の交通安全教室実施までは、児童だけで乗らないよう話をします。また、校庭では乗らないこと、自転車の駐輪場所は決めています。
- 川や海岸等の危険な場所では遊ばないようにしましょう。校内では体育館の裏やプールの周り、中庭などを指定しています。

これらのことは、学校でも話をしていますが、各家庭でのルールづくりは、お子さんとの対話の中で大切なことを話し合っ決めて、守ることが大切です。